

## PFLJ 平成 26 年度 事業計画

### 啓発事業

- HP・季刊誌の充足（担当 前田）
  - ・季刊誌 Buzz で引き続きシェルター動物の PR や動物福祉の最新情報をお届けする
  - ・HP をこまめに更新し、シェルター動物の最新情報を発信する
  - ・ブログ・ツイッター・動画配信を活用し、PR につなげる
  - ・チラシ・ポスターを、定期的に作成し、さらなる PR につなげる
- 会員の増員・福利（担当 吉永・宮内）
  - ・会費更新のお礼状・正会員カード作成、更新のお知らせをよりきめ細やかに行う
  - ・AR 来室や街頭募金、イベントなどの際に、会員になってもらいやすい環境を整える
  - ・新たな寄付制度の開拓（ネット募金など）
  - ・ブログで定期的に会員数など報告し、増員に繋がるアプローチをする
- ドクタードッグ（担当 米田）
  - ・ドクタードッグの増員（DD チャレンジプロジェクトの実施）
  - ・認定会を年 8 回実施 実働数 10 頭増へ
  - ・DD 認定試験を利用してスタッフのハンドリング技術の向上を行う
  - ・ボランティアの交流会を引き続き開催

### 救済事業

#### 1) 動物の救済

- 救済目標数（担当 川崎・石本・小牧）
  - ・里親探しなどの協力を伴う救済 80 匹
  - ・一時預かりなどの協力を伴う救済 50 匹
  - ・しつけ方指導、飼い方指導、里親探し指導など、指導による救済 400 匹
- リホーム家族への福利の向上（担当 石本・小牧）
  - ・アフター・フォローの充実（定期的なコンタクトによる飼育相談）
  - ・運動会・同窓会などをより魅力的な内容にし、参加者の増員を図る工夫をする
  - ・リホーム家庭と啓発活動を行い、事業 PR をする
- ボランティアの充足（担当 川崎・石本）
  - ・ボランティア独自の規格による活動（継続）
  - ・ボランティアの増員 専門学校への研修生の派遣を要請する
  - ・ボランティア勉強会を年 2～3 回開催
  - ・チャリティーイベントの開催（カレーパーティーなど）
  - ・フォスターファミリー（FF）の増員
- リホーム家庭の開拓（担当 石本・小牧）
  - ・動画を配信し、飼い主希望者にアピールする場を増やす
  - ・募金パネルを魅力的にして街頭で目を引くように努める
  - ・ブログなどを活用し、様子を掲載し、紹介の場を広める
  - ・西宮市・神戸市・兵庫県など行政との連携を密にし、救済できる頭数を増やす
- ペット飼育支援センター（担当 曾谷・宮内）
  - ・飼い主の病気・死亡を理由とした飼育放棄を未然に防ぐため、高齢飼い主の入院時などに、ペットを預かる
  - ・新聞・メディアなど外部からの事業紹介に繋げる（プレスリリースの実施）
  - ・これまでの利用者のデータを整理し、今後を活用する

## 2) 動物飼養指導

- 社会化教室の受益者を増やす。(担当 米田・柳瀬)
  - ・ HP の内容をリニューアルし、利用者数を向上させる
  - ・ 保育園のチラシを新しく作成する
  - ・ 近隣へのちらし配布を行い利用者を増やす
  - ・ 過去のデータを整理し、今後に活用する
- しつけ方教室の受益者を増やす。(担当 曾谷・柳瀬・宮内)  
しつけ教室の開催拡大(順調に成果が出ているので、継続して事業を行います。)
  - ・ 問題行動や散歩などをテーマに特別クラスを開催
  - ・ マナー教室参加者を対象にイベントを開催(ハイキング、クリスマス会など)
  - ・ ドクタードッグ訪問先などでできるショートダンスを作成し、クラスで行う
- 飼育物品の提供 (担当 石本・小牧)
  - ・ しつけ用品の正しい使用法・知識の説明を施設内に掲示する
  - ・ しつけ用品をお試し価格で提供するPR期間をつくる。(継続)
  - ・ 季節に合わせたおすすめ商品の紹介、陳列を変える
  - ・ 新しいしつけ用品の導入
  - ・ しつけ用品や質の高いフードなどおすすめ商品の紹介を行う

## 動物福祉教育事業 (担当 前田)

- ・ 未来の動物福祉の担い手である子どもたちに、いのちの大切さを伝える授業を行う

## 街頭活動事業 (担当 小牧・米田)

- ・ 啓発、飼い主希望、会員、ボランティアにつながるよう更なるPRをする(継続)
- ・ 平日の活動を減らし、土・日・祝に特化するなど新たな募金の体制作りを行う
- ・ 新規募金場所の開拓
- ・ HP などを通してボランティア参加を呼びかけ参加を促す
- ・ フリーマーケットなどイベントに積極的に参加し、チャリティー募金を実施する
- ・ イオン 黄色いレシートキャンペーン参加(月1回)

## その他

### 募金箱 (担当 中村・柳瀬)

- ・ 新規設置目標 500 個とする
- ・ 電話による新規開拓や既存店の紹介による新規開拓を行う
- ・ 設置店舗に支援者になってもらうため信頼を築けるようなコミュニケーションを図る
- ・ 既存店訪問時に近隣への訪問による新規開拓を行う
- ・ 電話での連絡や、近隣店への訪問・回収など、既存店へのフォローアップをきめ細やかに行う

### スタッフの知識・技術の向上 (担当 川崎・前田)

- ・ 勉強会・講習会を定期的で開催 研修への派遣
- ・ 経営体制整備(公益社団法人への移行準備)